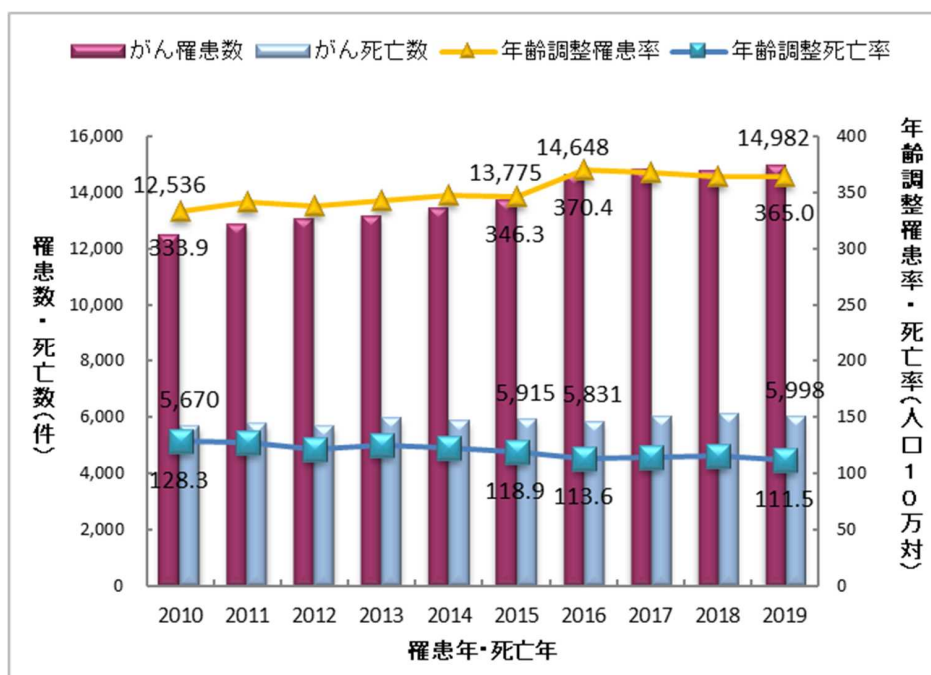


群馬県のがんの状況

群馬県感染症・がん疾病対策課がん対策推進係

1

がん罹患・死亡の年次推移（直近10年）



直近10年で見ると罹患数は増加傾向だが、年齢調整死亡率は減少傾向。

出典：群馬県がん登録事業報告（2019年）

2

部位別がん罹患率と死亡率(年齢調整)

群馬県で罹患率が高い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	子宮	肺	胃

群馬県で死亡率が高い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	乳房	肺	膵臓	胃

全国で罹患率が高い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	大腸	前立腺	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	子宮	肺	胃

全国で死亡率が高い部位

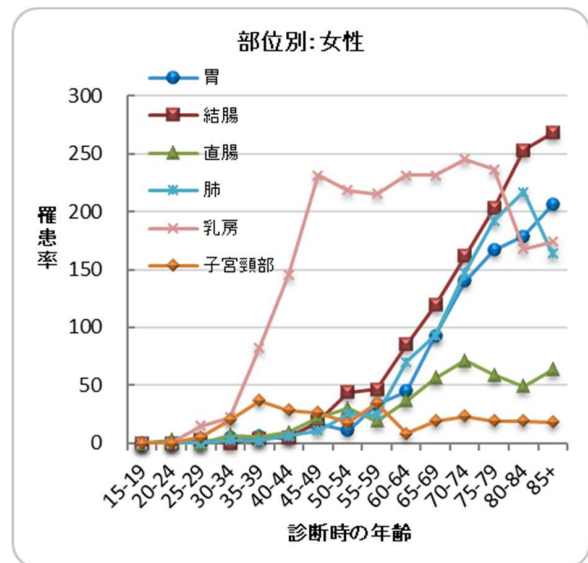
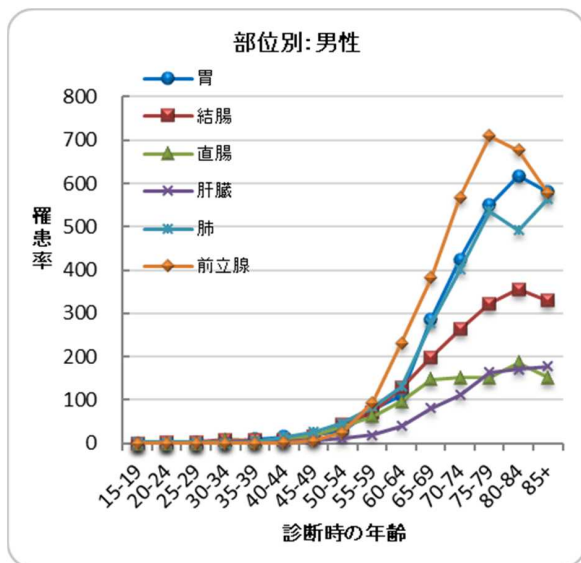
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	膵臓	胃

群馬県で罹患率が高い部位は、全国とほぼ同じであるが、男性で1位が前立腺となっている。

群馬県で死亡率が高い部位は、全国とほぼ同じであるが、女性で1位が大腸となっている。

出典：群馬県がん登録事業報告（2019年）₃

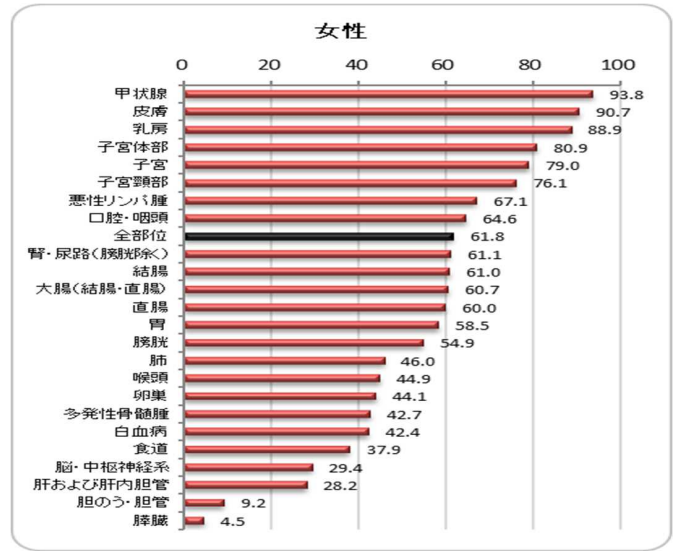
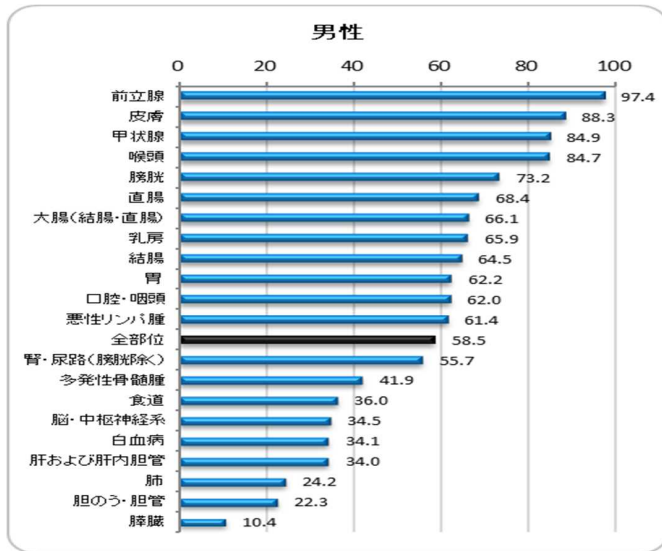
部位別年齢階級別罹患率（人口10万対）



男女ともに年齢が高くなるほどがんに罹りやすいが、女性の乳がん及び子宮頸がんは若い年齢でも罹患する。

出典：群馬県がん登録事業報告（2019年）₄

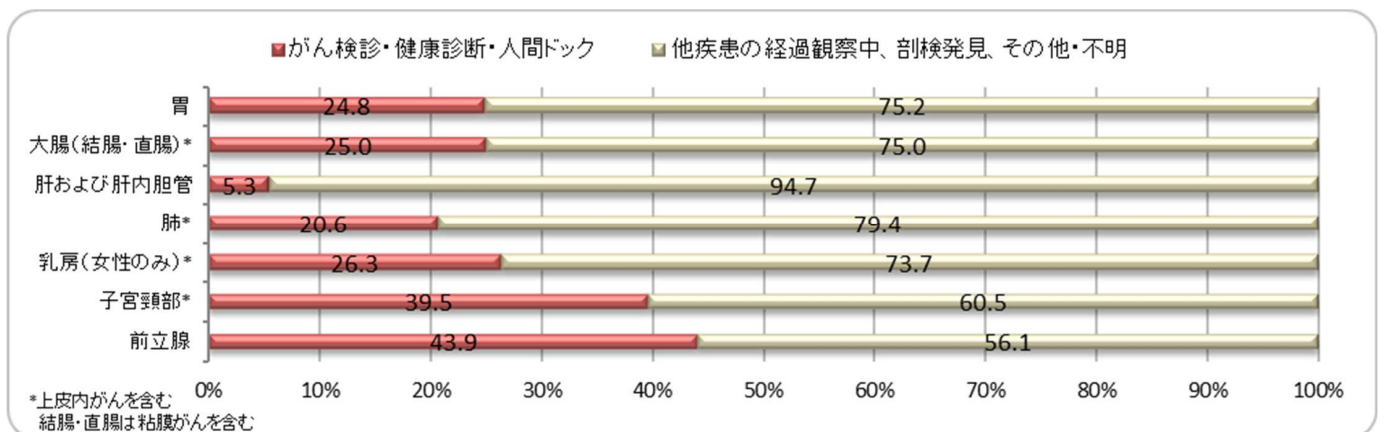
部位別 5 年相対生存率（2014年症例）



男性の前立腺、皮膚、甲状腺、喉頭、女性の甲状腺、皮膚、乳房、子宮体部は80%以上と高く、男性の膵臓、胆のう・胆管、肺、女性の膵臓、胆のう・胆管、肝および肝内胆管、脳・中枢神経系は30%未満と低い。

出典：群馬県がん登録事業報告（2019年）⁵

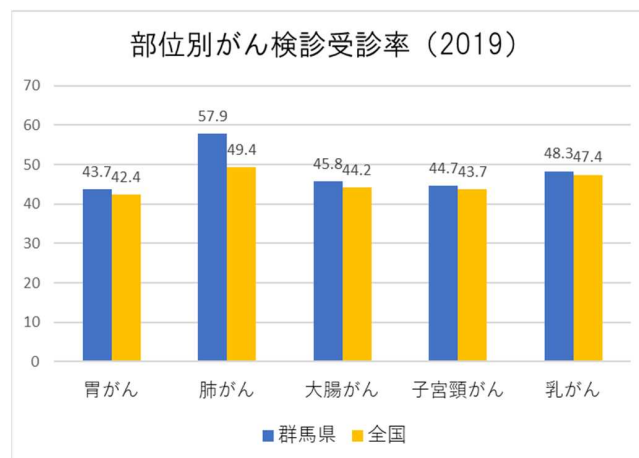
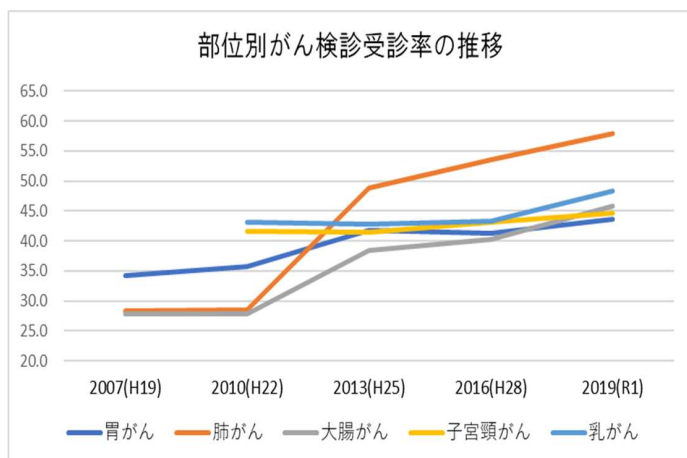
検診（がん検診、健康診断、人間ドック）でのがん発見割合



がん検診等による発見割合は、胃24.8%、大腸25.0%、肺20.6%、乳房26.3%、子宮頸部39.5%であった。また、前立腺は40%を超えている。

出典：群馬県がん登録事業報告（2019年）⁶

がん検診の受診状況

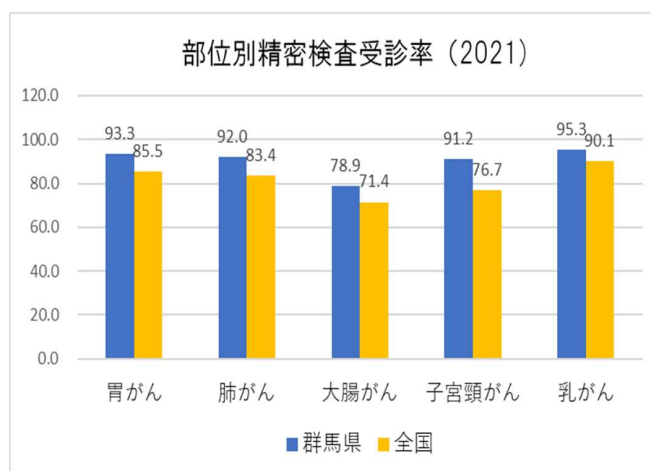
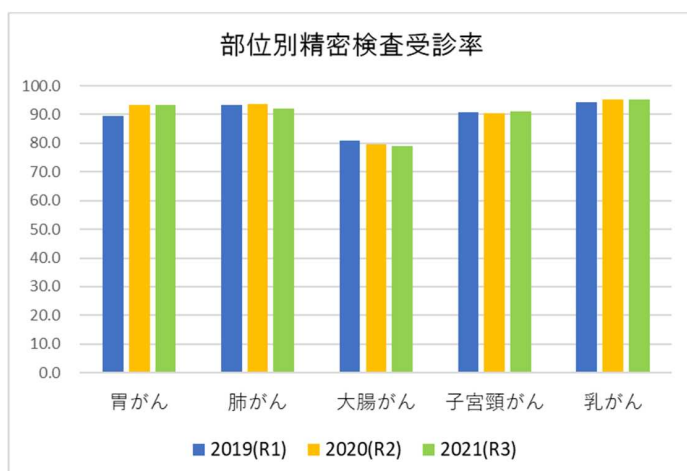


がん検診の受診率は上昇傾向にあるが、女性特有のがんの伸び率が低い。

すべての部位で全国より受診率が高い。

出典：国民生活基礎調査 7

市町村がん検診精密検査の受診状況



大腸がんの精検受診率が低く、直近3年で低下している。

すべての部位で全国より受診率が高い。

出典：地域保健・健康増進事業報告